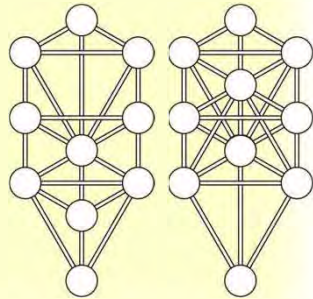


十言神呪・立体カバラ

形あるもの 形なきもの
 あらゆるものに 神生きたうなり
 その神すべてを成したもうなり

真理(神理)は
 人の中の不完全を完全に向かわせる



20210306

1

私が十言神呪に出会った経緯

事の発端は2020年7月、天に向かって
 立体カバラの使い方を聞いた。すると、天
 は立体カバラの使い方として、十言神呪
 (とことのかじり)を示された。

突然、二年間も買ったままで放っておい
 た十言神呪という本に引き寄せられた。



十言神呪の本をめくってみると、そこにはなんと**立体カバラ**の設計図と同じ形としての意味が書かれていた。

すぐに、この十言神呪が天からの答え(メッセージ)だと確信した。

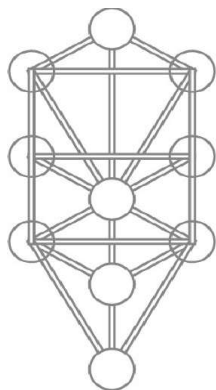
20210306

2

十言神呪の第三の組立て図と 平面のカバラは同じ組立て

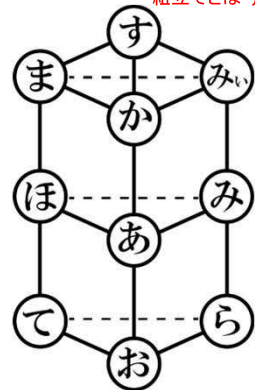
組立てとは“幾何学”のこと

十言神呪の平面図と
 カバラ神秘学の生命の樹の平面図は
 酷似している



平面のカバラ

20210306



十言神呪の第三の組立て

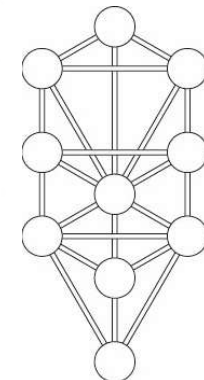
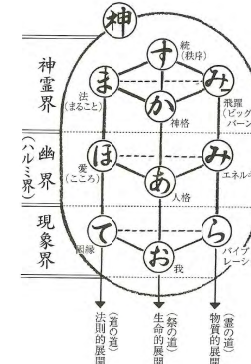
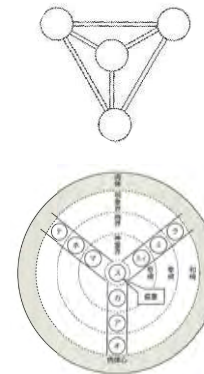
3

十言神呪と立体カバラの驚くべき相似性

十言神呪 第三の組立て

立体カバラの平面図

(生命の樹とも呼ばれる)



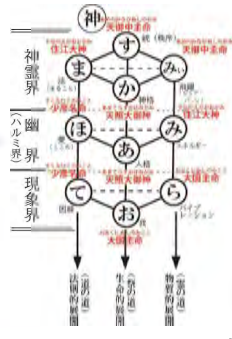
十言神呪一神・最高品性に至る三本の道・靈祭道一

石黒豊信著(ミヤオビパブリッシング)

4

その真理とは、神のあるべき位置と
神が成すべき働きについての真理である。

今、多くの人を
立体カバラを持ちな
がら「アマテラスオ
ホミカミ」ということ
で治療させていた
だいている。



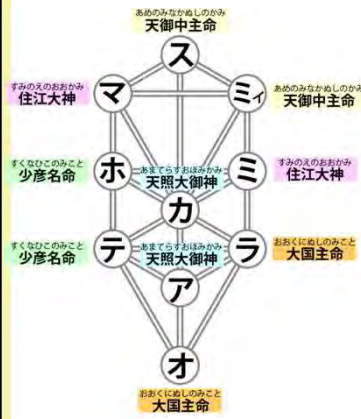
『十言神呪には
それぞれの言葉は神を表す』とある

スミイは天御中主命
カアは天照大御神
ホテは少彦名命
マミは住江大神
テオは大國主命を表す
つまり第三の組立てには五柱の神の
あるべき位置世界が示されている

あれっ？
同じ神の名が
2回ずつ
でてくる

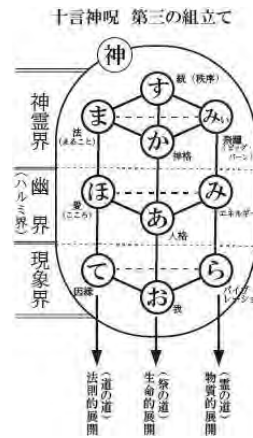
同じ神名が二回出てく
るのは、その御役割が違
うからである
またその御役割を果た
す世界次元が違うから
である

第三の組立ての 五柱の神様

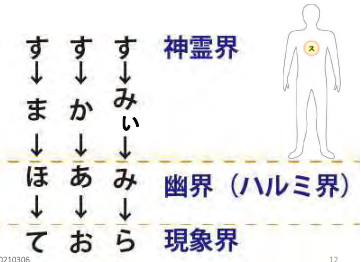


- 天御中主命 (ス・ミイ)**
宇宙を統一しておられる純粹なる存在です。
- 住江大神 (マ・ミ)**
人間に対して真理が正しく真つすぐに伝わるようにします。それが禊(みそぎ)や鎮魂です。真理伝令の大神様です。
- 少彦名命 (ホ・テ)**
上津彼方より詔の伝令をされます。それが歪んで届くことがあるので、歪んで届いた詔を矯正される、あるいは修正される大神様です。さらに三世に渡って智恵と愛で因縁(カルマ)を断ち切ります。
- 天照大御神 (カ・ラ)**
森羅万象に生命を与える大神様で、その本質は“みすまる”であり、“大調和”であり、その相は麗しい平和である。
- 大國主命 (ア・オ)**
肉体を司る神様です。天照大御神の詔に従って、いろいろなことを運ばれている大神様です。

上(神霊界)から下(現象界)への3つの道が提示される。



神界から現象界に
詔(みことり)が3つのルートに
よって降ろされる。
その詔(みことり)を私たちは
知ってか知らずか“す”という
受信装置で受け取っている。



道の道 祭りの道 霊の道

すまほてと降りてくるところの線を法則的展開という。ほは心の法則である。ては物質の法則である。

すかあおと下がる線は統一者中心者人間に至る道であり、生命的発展、または生命的展開という

すみみらと降りてくる線をこれによつてこの世の中が創造されていく。神の創造が行われていく創造的物質的展開という。

光の国神霊物語より

“す”に至るには3つの道を進まなければならない

祭りの道において⑦からの⑧を超えて⑧に至るには、ミ字観法、マ字観法、ミイ字観法が必要となる

祭は祭祀のこと。大神様をお祭り申し上げることで、己の霊性を高めるための正しい神様につながる祭祀です。

霊といっているのは正しい神様につながる己の霊性を磨くもの

道とは道徳、それも最高道徳のこと。道徳は神なり。最高道徳は大神なり。道徳は人これを行うも、最高道徳をしておこなわしめるものなり

人間が現世（現象界）に生きることの根本は祭りをを行う事。

「人間が祭りをを行うことは、人間がこの世に生まれて来る時の神様との契約である。（門田博治氏）」

【祭りの道】

人間と神様との間の契約を行うことが祭り。人間が神様に対する約束がある代わりに、神様も人間に対する約束がある。人間よりも神様の方が余計に、正確に約束を行っておる。だから、神様が契約を実行される、人間がその契約を同じように実行することで祭りになる。

“まつり”というのは、“真釣”という字を書くんです。祭りというのは、真釣り合いなんです。どちらへも傾かない。神様の側にも傾かない。ですから、神様がいま何をしておられるかということは、別の言葉で言えば、神様の真似をすることなんです。それが祭りです。神様の真似をすればいい。私共こうして神様を拝みますね。その時神様はそり返っているかというそうじゃないんです。神様は拝んでおられるんです、我われを。だから神様の真似をすればいいんです。それを神惟（かむながら）というんです。神惟というのは、神様の真似をすることなんです。神様のまま、神様の真似をする。神習うです。神様の真似をする。だからこういう祭りをしますという、それは契約によって、神様の真似することなんです。いろいろなお祭りでも、契約によって神様の真似をしていないお祭りは祭りではないんです。

御稜威…神の強い御威光。
▽「稜威(いつ)」の尊敬語。◆「み」は接頭語。

十言神呪と立体カバラを一緒に使うと神の御稜威が宿る。それを人に作用させると人が神の御稜威を受けとる。

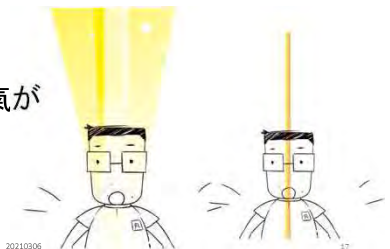
平面のカバラや立体カバラは十言神呪の真理そのものを形象にしたもの

平面のカバラや立体カバラは、 十言神呪の真理そのものを形象にしたもの

立体カバラを使うことによって十言神呪を理解しやすくなる。立体カバラはそのために天が私たちに与えてくれた神宝。
かんだから

立体カバラを持ちながら十言神呪を唱えると、全身を神気が包み込んだ。

さらに天から特別なご神氣がものすごいスピードで身体の中心を貫いた。



20210306

17

同時に立体カバラを持ち、十言神呪を唱えると、すさまじい威力によって人の身体がよい方向に変化した。

医師としてその威力の確かさを感じながらも、十言神呪の本質は、単なる病気治しではないと感じた。そして、暫くして私は、治療効果よりも十言神呪に

『人は現象界の生で終わるのではなく、その上の幽界、さらにその上の神界に至る』

ということがはっきりと示されていたことに驚いた。

20210306

18

これからするお話は
十言神呪と立体カバラの
理解を深めるために
必要不可欠な基礎知識です

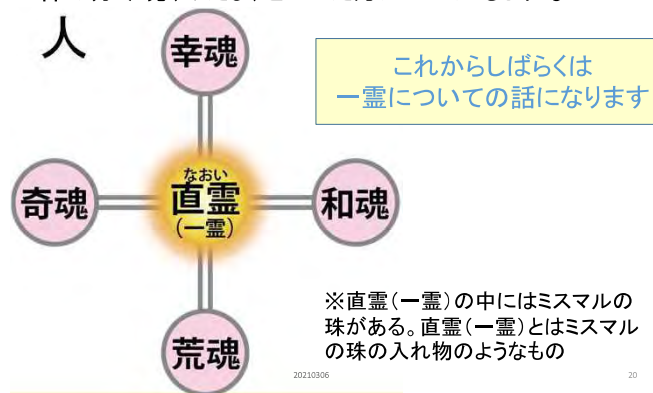
立体カバラを使って
十言神呪の内容を分かりやすく紐解く。

20210306

19

自分の中に神を見出だす

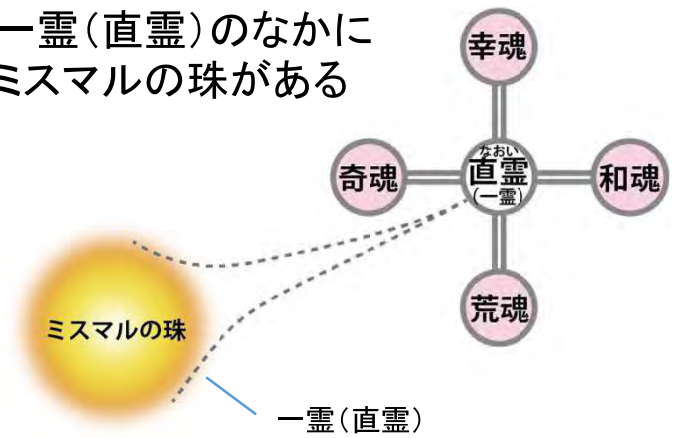
神様の目から見た、人の構造は一霊四魂
霊というと日本人はとかく幽霊の霊を想像してしまうが、
ここでいう霊は霊というより、
神の分け魂(みたま)といった方がいいかもしれない



20210306

20

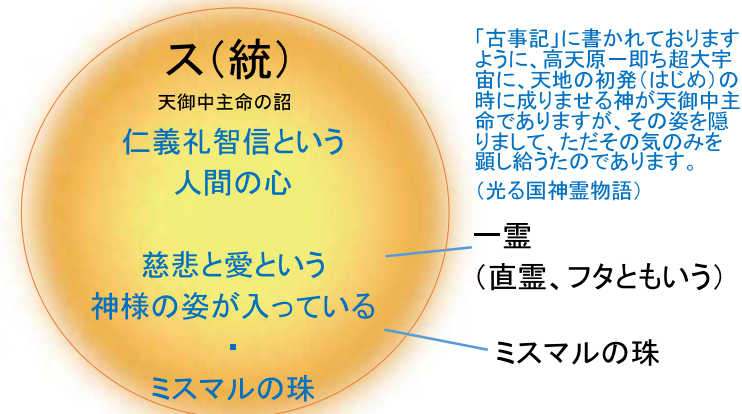
四魂に囲まれた
一霊(直霊)のなかに
ミスマルの珠がある



20210306

21

ミスマルの珠は人が人として生まれる尊厳として、天照大御神より賜っている。そして、ミスマルの珠を人間の中で、捧持するのが霊(直霊)である。



20210306

22

一霊(直霊・フタ)の中には...



仁義礼智信という
人間の心

ス(統)
天御中主命の詔

慈悲と愛という
神様の姿が入っている

・

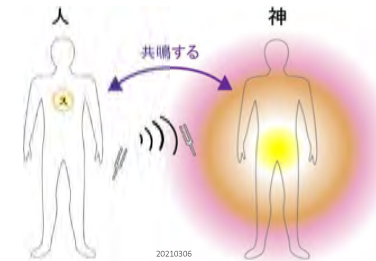
ミスマルの珠

20210306

23

神様の存在は絶対的

- ・この現世において神様の存在を抜きにはできない。
 - ・人間の外に神様が存在し、その神様と共鳴するものを我々人間一人一人は賜っている。
- 一霊(直霊)の中にはス(統)があり、神の御稜威がどんとん入ってくる。
みいつ



20210306

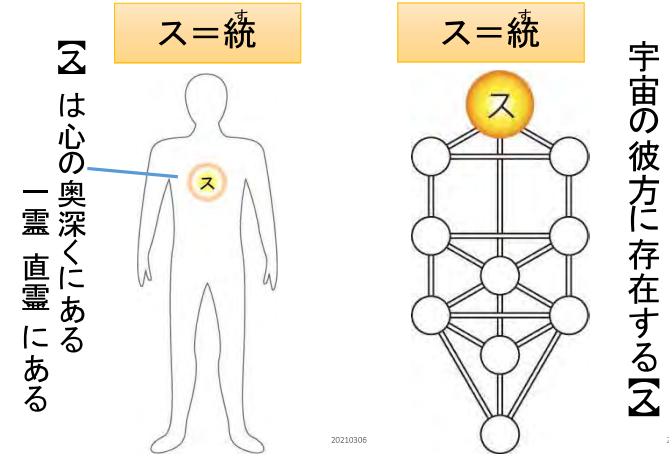
24

神霊界からの御稜威が人間に入るイメージ

神様はそのエネルギーを何倍にも薄めて人間の霊体に与える。そのエネルギーによって人間の霊体(一霊四魂)が育つ



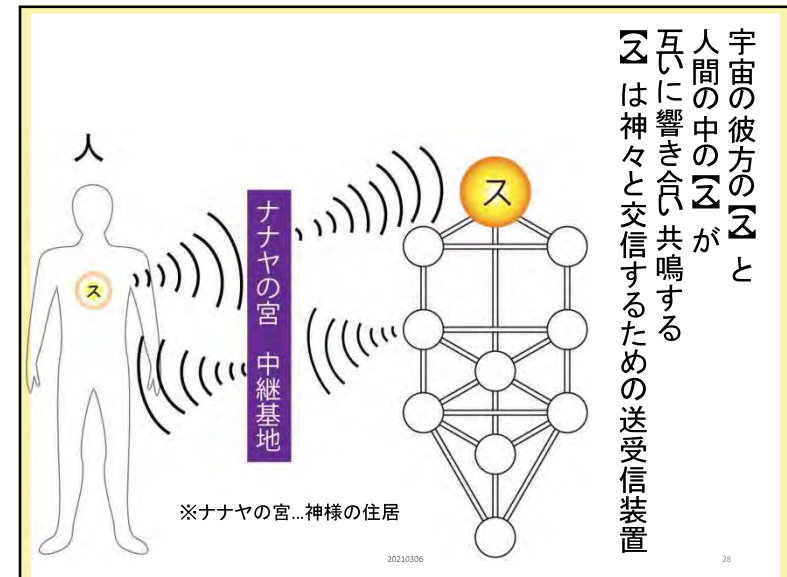
人の中にも宇宙にもス(統)がある。
人間の内なるス(統)と外なるス(統)が共鳴する。

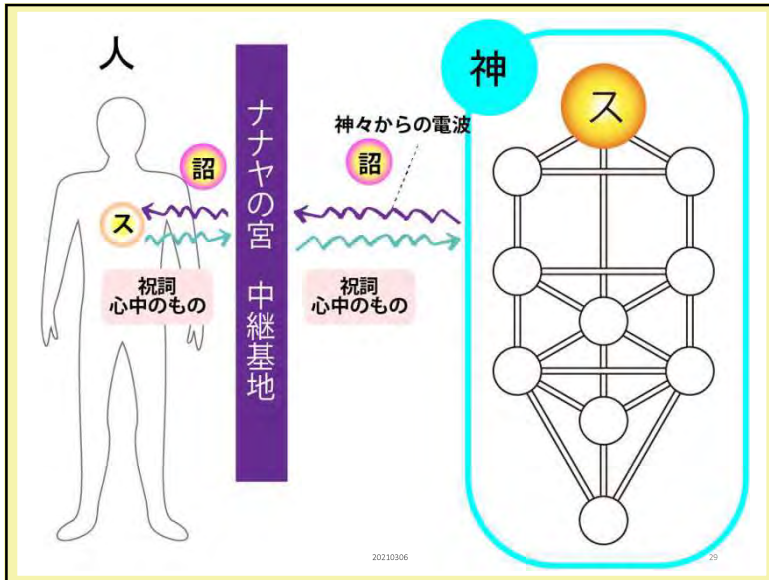


問題は、自分の内なるス=統と宇宙の彼方に存在するス=統がどれほど共鳴しているかということです。

自分の心が汚れて居れば、宇宙の彼方に存在するス=統とはかけ離れる。逆に心が清明であれば、宇宙の彼方に存在するス=統と共鳴しやすくなる。

私たちは心の奥で、宇宙彼方のス=統と共鳴したいと願っています。というのは、私たちはみなそこから生まれてきたからなのです。宇宙の彼方に存在するス=統と自分の内なるス=統を共鳴させるために、立体カバラを使う。これを使うことで多くの人が体感できるようになる。

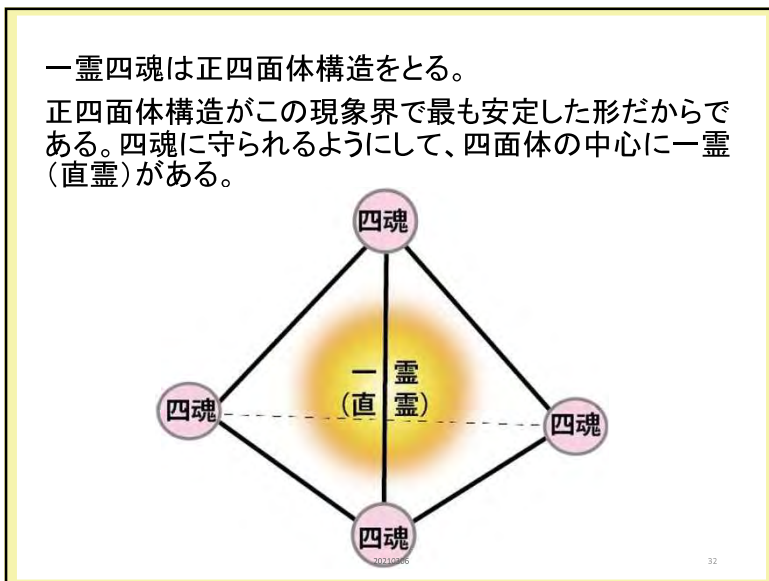
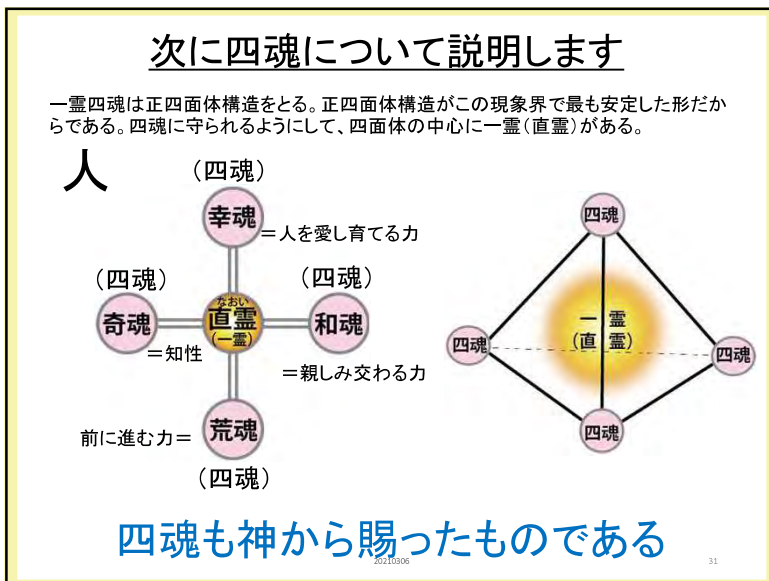




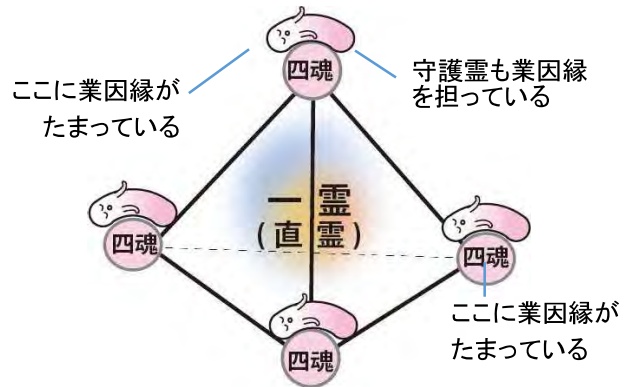
神は天体的宇宙には直接御力を加えて、統御しておられますが、生命的世界には人間を遣わされて、人間に「心」という無上の宝を与え、人間をして神の大御心と神の大経綸(だいけいりん)を悟らしめ、御心が天に成る如く地にも成らしめようとしておられます。

機は迫りつつありますから、やがて地上に現人神(あらひとがみ)のような聖皇(せいこう)が出現すると思います。その時地上には一切の争いがなくなり、国境は抹殺され、地上に天国が顕現するのであります。

「皇(す)」より発する光と、「水火(みほ)」より発する光を光被る「すめろぎ」の御代が地上に展開すれば、永遠に平和な世界が成就するのであります。



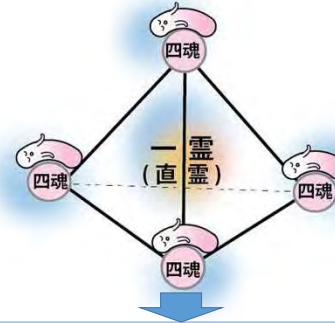
人は現象界に四魂の中には業因縁(カルマ)がある



四魂には一柱から四柱の守護霊が覆いかぶさるようについでいる。

33

守護霊は肉体のすぐ下に隠れており、人がこの守護霊のままに操られることがある。人は守護霊からくる五感に囚われた欲望をもってしてしまうことがある。

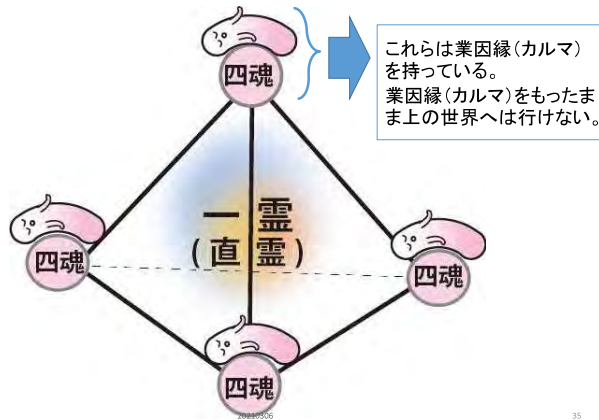


すると、一霊(直霊)は、業因縁(カルマ)によってがんにがらめになり、その輝きを失う。人が神性に向かううえで、四魂の業因縁と守護霊が担う業因縁を浄化することは必要不可欠である。

これらは業因縁(カルマ)を持っている。業因縁(カルマ)をもったまま上の世界へは行けない。

34

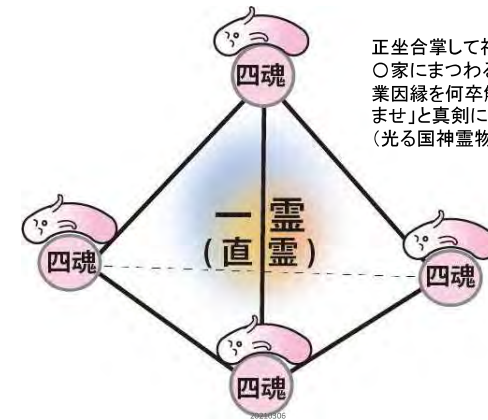
人が神性に向かううえで、四魂の業因縁と守護霊が担う業因縁を浄化することは必要不可欠である。



これらは業因縁(カルマ)を持っている。業因縁(カルマ)をもったまま上の世界へは行けない。

35

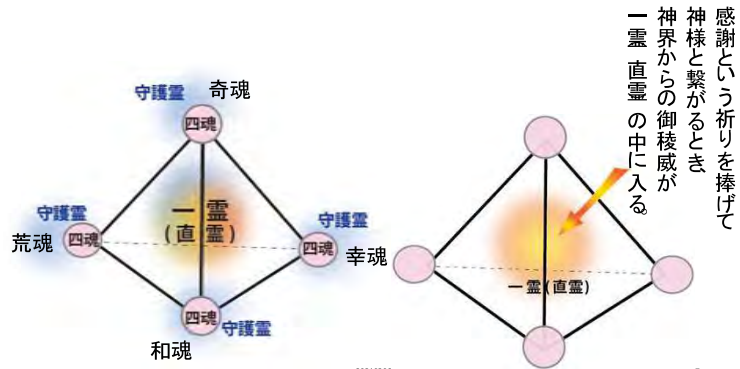
四魂の中、守護霊が担う業因縁を浄化するにはどうしたらいいのか



正坐合掌して神想観し、「〇〇家にまつわる死霊生霊の業因縁を何卒解消して下さいませ」と真剣に祈る(光る国神霊物語より)

36

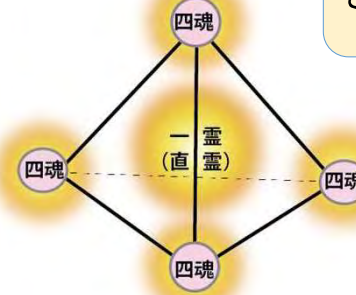
一霊(直霊)と四魂はつながっている。
 四魂の働きを一霊(直霊)がフィードバックし、コントロールしている。穢れることのない一霊(直霊)は、四魂にとって良心のような働きをする。



20210306

37

一霊(直霊)が輝きを増せば、その輝きは四魂にも波及する。



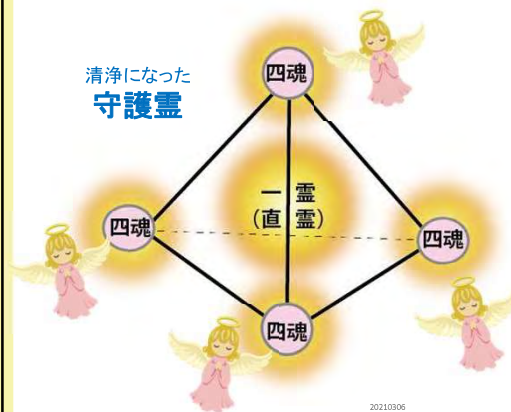
四魂の業因縁が消去されると業因縁を担っている守護霊が清浄に。

すると四魂の業因縁が消える

20210306

38

カルマ
 四魂の業因縁が消去されると
 カルマ
 業因縁を担っている守護霊が清浄に。

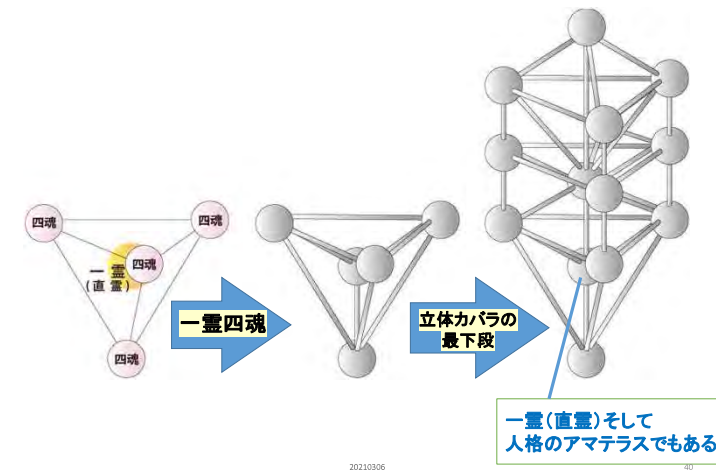


守護霊の多くは祖先の霊であることが多い

20210306

39

一霊四魂は立体カバラの最下段になっている。



20210306

40

「オ」が段々上へ上がっているんです。この中心は何処にあるかという「オ」なんです。この中の中心は「オ」です。「オ」というのは我ということ、人間ということです。自分がここに居り、ここから見るんです。自分からこの現象の世界を見るのは、一番下の段になります。我という得体のしれないものとして、ここにありますがけれども、はっきりと現象の世界に在るのは、物質の世界の「ラ」です。我と物質とだけがあるんじゃなく、我と物質との間関係がある。因縁がある。因縁というのは相関係係という意味です。因縁とは間関係です。それが「テ」です。この世の中にあるのは、この現象界にある物は総括して三つの言葉で表しますと、「我」と「物質」と「その相関係係」との三つしかないんです。

一霊(直霊)そして人格のアマテラスでもある

最上階

最上階は中心であり、天御中主命とスメロギの神々がおわします。すべての力の根源であり、生命のもとであり...言葉では説明できません。この世界より流れ出したものが、惟神(かんながら)の正道です。あなた方に示された神々は皆この世界におられます。したがってここは神の宮居ということが出来ます。この世界は無相の世界と申しましたが、捜し求められる世界ではないので、そういったのです。あなたが「神の宮居」なのです。あなたの「統(す)」が、この世界なのですから、宇宙一杯ともいえるのです。「神の子」ということは、この「統」とあなたとのつながりを言うのです。

20210306 42

平面のカバラではここ
立体のカバラではここが直霊(一霊)にあたる

平面のカバラ図 立体のカバラ図

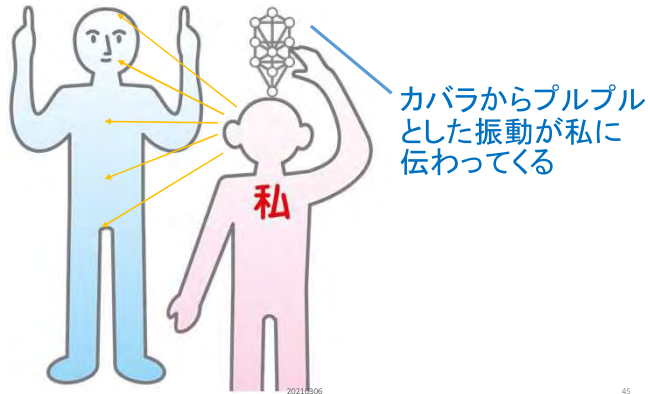
20210306 43

十言神呪と立体カバラを 実践する

立体カバラを初めてつくったとき、右肩の上で『アーロンの杖』という言葉が聞こえた。だが、自分の右肩には誰もいなかった。アーロンの杖を調べてみると、神々の持ち物であることが分かった。

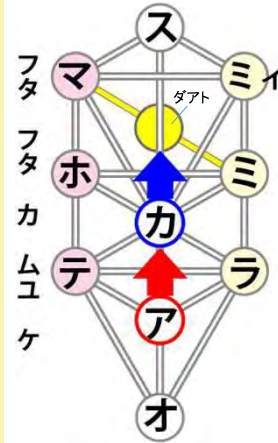
20210306 44

立体カバラを持って患者さんのカラダを上から下にスキャンすると、悪い所がすぐわかる。



2021.03.06 45

十言神呪には『フタ・フタ・カ・ムユ・ケ』
ミスマルの珠を光り輝かせる言霊が書かれている



これこそが
四魂の囲いを取り除き、
直霊を現世から解放し
神霊界にいざなう言葉



アはカのアった位置に
カはダアトの位置に
繰り上がる

立体カバラを持ち、「フタ・フタ・カ・ムユ・ケ」という言葉を唱える。空間(空気中)の分子までも「フタ・フタ・カ・ムユ・ケ」と振動しているようなイメージ。自分を形づくっている細胞から原子までもが、そのように振動しているイメージを持つ

2021.03.06 46

『フタ・フタ・カ・ムユ・ケ』とは...

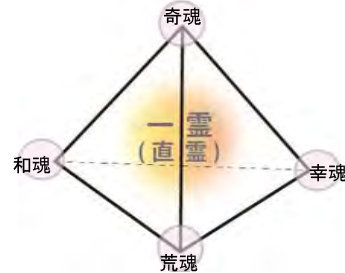
ムユ(無由)

人間が肉体を変質させ、あるいは霊体が肉体を抜けて神界に入ることがある。

これをムユをいう。人間がムユ(無由)して神様と対峙します。

神界は自分の意識の最も深い所、思考があらわれない領域と繋がっている。ムユは思考と思考の間に意識を集中することによって起こる。または意識を宇宙にまで拡大していく。

直霊が現象界からその上の幽界へ向かうには、この正四面体による囲いから出なければならぬ。
それには**ムユ(無由)**が必要。

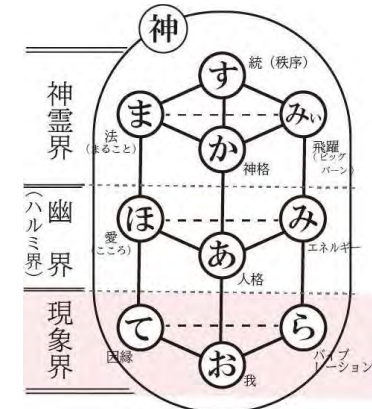
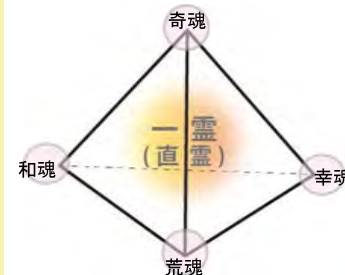


『フタ・フタ・カ・ムユ・ケ』は四魂によってがんじがらめになっている一霊(直霊)を開く方法でもある。

2021.03.06 47

直霊が現象界からその上の幽界へ向かうには、この正四面体による囲いから出なければならぬ。


それには**ムユ(無由)**が必要。




『フタ・フタ・カ・ムユ・ケ』は四魂によってがんじがらめになっている一霊(直霊)を開く方法でもある。

2021.03.06 48

立体カバラを
頭頂に置き
フタ・フタ・カ・ムユ・ケ
を繰り返す(10回)



立体カバラを
頭頂に置き
フトア・フトア・
カ・ムユ・ケ
を繰り返す(10回)



20210306 49

ふとあ
かむゆけ

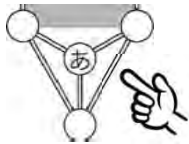
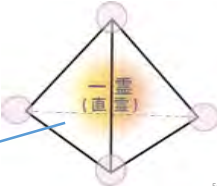
【誠に畏れ多い事ながら、大詔の大意を謹んで翻訳させて頂く】

美しく、立派なお前よ
神から授けたものを
神の力によって
深く
何処までも 何処までも
散華せよ

そしてムユとは...

ヒトフタミ ヨ イツムユナナヤコノタリ ムユ
一ニ三四五六七八九十の六のことをさす。
六＝6は、アマテラスの数字であるため、四魂の囲いを解くのはアマテラスの役割である。

したがって、下部の正四面体の②に向かって
「アマテラスオホミカミィ」を唱えることは、アマテラスの働きで四魂の囲いを解くことになる。

立体カバラでは
これが上下逆に
なっている

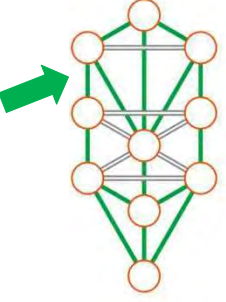
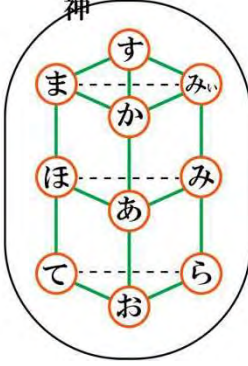
20210306 50

ムユの極意は、
「中今というこの瞬間(中今とは永遠に続く一瞬のこと)に、我を“場”として、あらゆるものが現れている。その現れが完全無欠であることに気づき、それに対して『愛しています、ありがとう』と愛と感謝の気持ちを送る時、ムユが起き始める。
ムユの初めは、“今この瞬間”に意識を集中させることである。すると、一見何も無いように見える空間に自分の肉体に浸透しているものと同じ意識があることに気づく。
それは、あらゆるものの背後にあって、それらの存在を可能にする意識であることに気づく。」

20210306 51

第三の組立てと平面のカバラの類似点

小さな円が10個ある部分は同じ、
円と円を繋ぐ径も類似している。緑の部分は同じである。

この円と円を繋ぐ径も同じである

この丸が十個ある

20210306 52

第三の組立てと平面のカバラの相違点

十言神呪の第三の組立てと平面カバラの相違点は ㊦ と ㊧ 、 ㊨ と ㊩ の位置である。第三の組立ての ㊦ と ㊧ は平面のカバラの ㊨ と ㊩ より一段高い場所に位置している。この相違点が解消されなければ、十言神呪の第三の組立てと平面のカバラは同じとは言えない。

